

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第87号（通巻第154号）

2010年4月30日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ センター長就任挨拶

：教育実践総合センターを研究と実践のかけはしに

山梨大学教育人間科学部教育実践総合センター長 加藤 繁美

大学は学生を教育する場であると同時に、研究する場でもあります。もちろん、研究に求められる最大のポイントはオリジナリティーにあり、それ故、研究者は常に他者とは違う「ものの見方」や「考え方」を武器に、新たな課題にチャレンジしていくのです。

周知のとおり教育人間科学部は、現代社会における教育と人間のあり方を課題に、多様な研究を展開する学部です。そして教育実践総合センターは、そうした大学における研究と、教育現場との橋渡しをする場として機能しています。

時には社会のなかで「自明」と考えられていることを根本から問い直すことを通して、あるいは旧来の常識を覆す新しい発想で創造的な提案をしていくことを通して、社会と大学の双方に、新たなエネルギーを提供していきたいと考えています。

■ センタースタッフに加わりました

教授 嶋田 一彦

この4月より、県教育委員会から山梨大学への派遣教員として、教育実践総合センターにお世話になっております嶋田一彦です。3月までは甲府市立東中学校に勤務しており、過去には県教育委員会にも在職しておりました。

今日の教育課題の一つとも言える「教員の資質向上」は養成段階からの取組が大変重要であると考えております。そうした中で、様々な教育関係機関と連携・協力して教員養成・研修や教育ボランティア等に関わる仕事に携われることに、喜びとやりがいを感じております。また、実務家教員としての立場と役割を念頭に置き、自分がなすべきことは何なのかを常に意識し活動していきたい

とも考えております。

これまでに経験したことのない環境下で慣れない面もありますが、センタースタッフの皆様のご協力をいただきながら、微力ではありますが、もてる力を精一杯発揮して努めて参りたいと存じます。どうぞご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

■ 教育実践総合センターのスタッフに加わりました

准教授 早川 健

この度の山梨大学と県教育委員会との人事交流により、教育実践総合センターにお世話になることになりました。全く新しい環境ということで、戸惑いもありますが、センターの先生方に支えられながら少しずつ業務の把握に努めているところです。

ゆとり教育からの脱却や学力向上などが話題となり、今私たちは教育制度と内容が同時に変わる節目の時期にいます。学校現場は、社会環境の変化や価値観の多様化等に伴って子どもや保護者への対応が非常に難しくなっています。このような中、現場の教師が社会の期待に応えるためには、毎日の「よい授業」をつくっていくことが大切だと考えます。最前線である学校現場には、思考力・判断力・表現力をしっかり身につけ、知的に自立した人間を育てる授業の創造が必要なのです。小学校の教育現場に携わらせていただいた経験とささやかな実践をもとに、よりよい教師を目指す学生の方々に、授業研究の魅力や教師の生きがい、やりがいを伝えていけるように取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

■ 平成 22 年度第 1 回期間採用者等研修会についてのご案内

好評をいただいております期間採用者等研修会の第 1 回目を、下記のとおり開催いたします。経験豊かな現職の先生方などをお招きして開催することとしております。学校現場で、日夜ご活躍されている皆さん方の現場における様々な教育実践推進上の悩みや課題に、きっとお応えすることができることと思っております。研修会へのご参加をお待ちしております。

日時：平成 22 年 5 月 29 日(土曜日) 9:30~15:00 (一部 17:30)

場所：山梨大学 人間教育科学部 J 号館 5 階 A 会議室他

対象：期間採用者や非常勤講師等臨時的任用教員・学生

内容：「児童生徒を引きつける授業の工夫」「児童生徒理解と学級づくりのヒント」「教職に役立つ教育法規・制度の知識」

付 記

＊ 費用：研修は無料で行います。

＊ 申し込み：平成 22 年 5 月 25 日(火)までにお申し込みください。

FAX、Web 及びメールにて受け付けます。(Web が便利です)

(研修名、お名前、所属、連絡先、希望校種、特別研修参加の有無をお願いします。) なお、会

場準備の都合上、一応締め切りを設けてありますが、当日まで受け付けておりますので、ご遠慮なくご連絡ください。

Web : <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>
メール : jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
〒400-8510 甲府市武田4-4-37
山梨大学教育人間科学部 附属教育実践総合センター
電話 055-220-8325
FAX 055-220-8790

- * 駐車場： ご利用の場合は、北門からお入りください。
(台数が限られていますので、なるべくお乗り合わせの上お越しください)。

■ 教育ボランティアガイダンスのご報告

平成22年度戦略的プロジェクトー地域連携事業支援プロジェクトー教員志望大学生による支援事業として、教育ボランティア活動が実施されることになりました。4月14日(水)、15日(木)に本学N-12・M-12教室において、学生を対象にした教育ボランティアガイダンスが開催されました。

14日には加藤ボランティア委員長の話や活動概要の説明に続き、受け入れ先の甲斐市教委・笛吹市教委・甲府市教委・湯田小・舞鶴小・白根源小・白根東小・落合小・穂坂小・甲西中・白根御勅使中・山梨英和中・明生学園・県発達障害者支援センター・本学附属特別支援学校から、活動内容等の御説明がなされました。この2日間で、昨年度にも増して245名の学生が参加し、真剣に耳を傾けていました。多くの大学生によって地域貢献が図られるとともに、多くの学びが得られることを願っております。



■ 実践センター研究紀要とニュースの発行

実践センター研究紀要「教育実践学研究」第15号と実践センターニュース第18号が発行されました。実践センターホームページからご覧いただけます。研究紀要はファイルサイズが大きいためダウンロードに数分間かかると思われます。この点ご了承ください。

研究紀要は教育実践研究や基礎研究についての本学部教員からの投稿論文集で、今回は11篇が掲載されています。ニュースは実践センターの活動を報告したもので、その業務に関係する教員に依頼して寄せていただいた原稿も収録されています。いずれも年1回の発行で、今回の発行は平成21年度のもので、本年度の研究紀要も例年通り7月に投稿申し込み案内を通知する予定です。その際には投稿をご検討いただければと存じます。

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」に関するお願い

相談スタッフを募集しています。新しく着任された先生や未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口（ataniguchi<アットマーク>yamanashi.ac.jp）までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、5月31日までにご連絡ください。

教育相談の実施報告については随時受け付けております。報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口はいつて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

また、従来の報告書はご負担が大きかったかと存じますので、下記事項に関する情報をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。エクセルのフォーマットは添付ファイルでお送りしますので、谷口までどうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容
080401	訪問	〇〇小	小6	／	教師(研修担当)	国語科校内研修研究
080405	メール	××中	中3	女	教師	発達障害生徒への対応

■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。

ただし、セキュリティの問題がありますので、個別の情報は市町村名及び学校名にとどめ、個人情報等の入力はお控え下さい。特に、発達障害・不登校等の個人的な問題に関する相談ケースへの対応については、メールもしくは紙ベースにて谷口まで別途ご連絡下さいませ。

■「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

総合研究棟 3F にございます「教育相談室」(Y-304) をどうぞご利用ください。教育実践総合センター事務室 (J号館 4階) にて鍵をお貸ししております。予約制となっておりますので、空き状況を教育実践総合センター事務室にてご確認の上、ご利用お願いいたします。利用された場合には、相談室内机の上に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。使用ノートにご記入の上、ご利用下さいませ。

ご不明な点がございましたら、センター事務室もしくは谷口までお尋ねください。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。